

帯笑園保存会 会報

発行元保存会事務局
発行責任者鈴木泰次
2024年 7月26日
No. 13

沼津の宝百選に選ばれて

昨年、市制施行百年を記念して、「沼津の宝百選」が選び直された中に、帯笑園は初めて入ることができました。これには、令和元年四月から帯笑園が市により公開され、毎週土、日曜日に多くの市民が訪れるようになり、知名度が高まったことが要因ですが、原・浮島地区の皆さんが、ふるさとを誇る宝として選ばれることを望んだことが大きな力になったことでしょう。

これを機会に市の公報課では、昨秋、FMぬまづの取材で帯笑園を取り上げてくれ、二回にわたり放送が流れました。また、今年に入ってからもケーブルテレビのトコちゃんねるで映像が流れるなど、うれしい機会に恵まれました。しかしながら、番組取材に立ち会い感じたのは、かつて東海の名園とたたえられた植物園としての往時の面影は薄らぎ、来園者に喜んでもらえているのだろうかということでした。

園芸部会の活躍に期待

旅人を感じさせた松や蘇鉄の盆栽は管理が難しく、今に伝わるものはありません。また、万年青や蘭の類もかつての姿は見られず、園内はさびしい状態にあります。しかしながら、四季折々に訪れた人々を楽しませた草花の栽培ならば、復元の手掛かりとなる資料も残されているため、取り組みやすく、園の再整備の方向が見い出せそうです。



アサガオの培土を配る作業を全員で。



3月9日ハスの植え替え作業実施。



木陰に珍しい品種の草花を植付け。



3月末の大風で沼津垣が倒壊、修復。



踏み石の段差をなくして、安全に散策ができるように整備。

写真で見ると令和5年度事業報告

コロナ感染防止対策が緩和されたこともあって、帯笑園での催事も久しぶりに開催できるようになりました。五年度の本会の活動ぶりを写真でお目にかけていと存じます。

サクラソウ鑑賞・琴の演奏会・抹茶席 四月十五・十六日

頼重市長・奥村教育長・地元選出市議等を来賓にお迎えし、渡辺富鳳・鳳代賀先生御一門の琴の演奏、原婦人会の抹茶席など恒例の催しが行われ、武川利一会長の沼津さくらそう会ほかの皆さんのご協力を得て多数のサクラソウが出版されました。



エビネ山野草展 四月二十九日

静岡県えびね山野草会（佐藤喜美雄代表）による展示会にエビネ草のフアン百四十九名が鑑賞に訪れました。



百八十八名の来園者の皆様に様々なアサガオを楽しんでいただいた。三島市の遺伝研・遺伝学普及会から分けていただいた珍しい変化アサガオに驚かれた方々も多かったようです。

薩摩琵琶演奏会 十月七日

久保田湖水先生と一門による薩摩琵琶の演奏会を抽選により入場者を絞って開催。開演直前の降雨により臨春亭内での鑑賞となりましたが、拡声装置なしでの生の演奏を味わうことができ、大いに喜ばれました。



秋の七草・山野草・キク花展 十月二十八・二十九日

春の山野草展に引き続き、愛鷹山草会とタイアップして開催。秋の山野草展には、秋の七草のコナーを設け親しんでいただくとともに、「やさしいキクの育て方教室」の受講者や愛好家が持ち寄ったキクが展示を飾り、立派な展示会となりました。



春の山野草展

五月二十七・二十八日

愛鷹山草会会員らによる展示と即売会に百八十名が来園。



ウチヨウラン展・陶芸展

六月十一・十二日

本会会員の佐野光弘さんが伊豆うちよう蘭会のお仲間とともに、毎年開催している作品の展示・即売会で、会員の真柄光男さんが開く陶芸展と同日開催し、百九十名が鑑賞に訪れました。



大輪アサガオ・変化アサガオ展

七月二十八・三十日

四月の「育て方教室」に参加し、タネの芽切りの仕方に始まるアサガオ栽培を初歩から学んだ受講者や愛好家が育てた作品四百五十鉢が持ち寄られ、盛夏の朝八時〜十一時まで展示会が開催されました。【2頁下へ】



クリスマスローズ展・同育て方教室

一月十八日

人気の高いクリスマスローズの展示会と、育て方教室を同日に開催。百四十余名が観覧に訪れ、教室を受講した三十七名はそれぞれ一鉢のクリスマスローズを手にし、にこやかに帰宅しました。



外部講師を招聘した技術研修会・園芸部員の園内講習会



技術研修会



春の七草学習会



特別顧問鈴木昌宙先生による園内講習会



大輪アサガオ・変化アサガオの育て方教室

四月二十二日 三十四名参加

講師 丸橋章二氏・鈴木昌宙顧問
丸橋先生から行燈仕立てについて教
わりました。子供時分から慣れ親し
んでいたはずですが、目からうろこ
が落ちる思いでした。鈴木昌宙先生
からは変化アサガオのあれこれを伺
いました。

やさしいキクの育て方教室

六月四日 二十六名参加

講師 鈴木昌宙先生・中原久忠会員
初心者にも育てられるガーデンマム
という種類のキクを育て、秋の七草・
山野草・キク花展への出展をめざしま
した。

ナデシコの育て方教室

十一月十一日 二十七名参加

講師 鈴木昌宙先生・中原久忠会員
ナデシコは江戸後期の帯笑園の絵図に
描かれ、井伊直弼腹心の長野主馬が園内
で詠んだ和歌が残されています。

サクラソウの育て方教室

一月二十七日 四十五名参加

講師 武川利一会長・池田博司会員
歴史的にも帯笑園といえはサクラ
ソウというほど知名度は高いのです
が、これからも栽培を続ける担い手
の養成が大事です。広報ぬまづなど
で、教室参加者を募る努力を怠らぬ
ことが肝要です。



一頁で今後の園整備の方向
性について示しましたが、だれ
でも参加でき、だれしもが楽し
みを見出すことのこののでき
るメモリアル・スポットとして
帯笑園はあり続けなければな
りません。それには、この頁に
掲げた各種の育て方教室の拡
充が肝要かと考えます。いかが
ですか、いずれかのお教室に参
加してみませんか。

本年も、植松家旧蔵美
術品で、東京国立博物館
に寄贈された作品のレ
プリカ制作に取り組み
ます。江戸中期、円山応
挙の下で研鑽を積んだ
画家曾我蕭白の描いた
双幅の山水図を制作し
ます。完成の暁には会員
のみならず多くの市民
の皆さまに鑑賞してい
ただけるようにします。
お披露目の時期として
は梅雨明けころ、七月二
十六日から始まる大輪
アサガオ・変化アサガオ
展に合せたいと考ええ
ています。